

みてみて！家庭学習ノート【上柴東小学校】

今日のめあて 空気や大地の問題にふれる。6月22日(金)

① 目に見えにくいけれど恐ろしい「環境問題」、空気や大地の汚染について学ぶ。

私たちが生きていくために欠かせない空気や大地でも、汚染や突りぬたかな大地の消滅など、さまざまな問題が起きている

1. さん性雨
さん性雨は化石燃料を燃やすと発生する有害な物質が、大気中の水やさん素と反応してふる、強いさん性の雨、木々を枯らしたり、コンクリートの建築物や石像、銅像を溶かすことがある。また、さん性雨がたまり魚が住めなくなつた湖や沼がある。

2. 進む砂ぼく化
砂ぼく化がどんどん広がっている。気がうが変化して雨がふらなくなつたり、森林伐採やヤシ畑、

今日のめあて 空気や大地の問題にふれる。6月22日(金)

農業、放牧しすぎなどで砂ぼく化が進んでいる地いすもある。



② 「環境問題」
では、さん性雨や、進む砂ぼく化などほかにもいろいろな汚染物質があることを知りました。また、化学物質の使いすぎにも、気をつけることがわかった。

<ふりがえり>
自分自身も「環境はがよい」をしないように身の周りのことにも見直ししたいです。

社会で習ったゴミ問題からさらに調べていると、
いかにわたしたちの身のまわりで起きていることを考え実行したい。

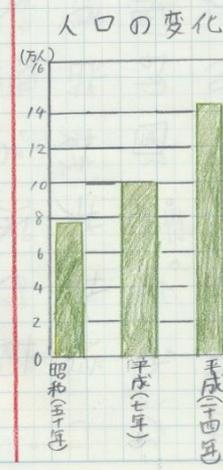
4年生家庭学習ノート
授業で学習した内容を、さらに発展させて調べています。振り返りでは、調べた内容をもとに、自分自身の生活を見直しています。

今日のめあて しかりとふくうしてみる。6月26日(火)

<もんだい>
深谷市は、昔から今にかけて、水の使う量はふえているのか。また、人口はどうか、しているのか。

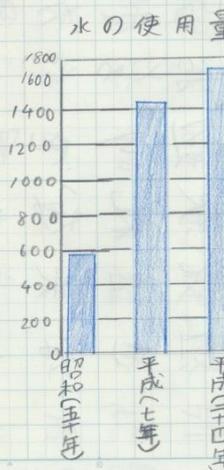
<かだい>
深谷市の、水の量と人口を調べよう。

人口の変化



年	人口(人)
昭和三十年	8000
平成七年	10000
平成三十四年	14500

水の使用量



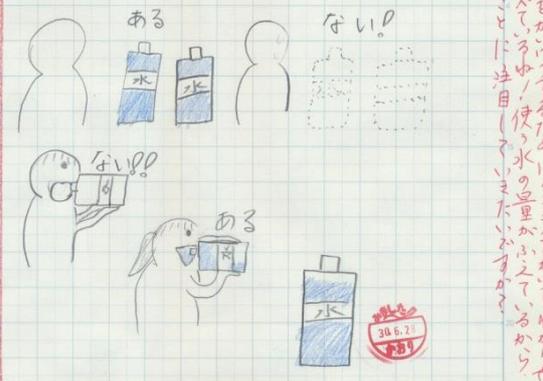
年	水の量
昭和三十年	600
平成七年	1400
平成三十四年	1700

今日のめあて 6月26日(火)

<まとめ>
深谷市は、人口がふえつつけるにつけて、使う水の量もふえている

なぜ人口がふえると使う水の量がふえるのか？

・1人分の水の量がいくつ必要になるから



課題もかいてつづけるためにグラフをかいて、わかりやすくして、水の量もふえているから、
人なごうに注意して、水を大切にしよう。

4年生家庭学習ノート
課題解決の学習過程を生かし、学習を進めています。ノートのマスを活用し、グラフも丁寧にかいています。